

名城ビーチ付近海域における流況調査報告

平成 18 年 4 月 27 日、8 月 23 日、9 月 7 日の高低潮の差が大きい時期(原則として大潮時)に、名城ビーチ付近海域において流況調査を実施した。観測方法は、礁外においては測量船搭載の超音波流速計 (ADCP) による流向・流速の観測、礁内においては DGPS プイによる漂流観測を実施した。

1. 観測海域

観測海域図に示すとおり

2. 使用した船舶又は航空機の種別又は名称

測量船「おきしお」及び搭載艇

3. ADCP 観測結果

4 月 27 日は上げ潮時の観測、9 月 7 日は下げ潮時の観測を実施した。結果を第 1 図に示す。

4 月 27 日の上げ潮時には北方向への流れが、9 月 7 日の下げ潮時には南方向に流れが観測された。流速は上げ潮時及び下げ潮時とも、全体的に 1kn 前後の流速が見られ、最も沿岸に近い海域で最大約 1.8kn の流れであった。

4. 漂流観測結果

4 月 27 日における上げ潮時及び 8 月 23 日における下げ潮時の 2 回 (約 1~2 時間) 観測を実施した。結果を第 2 図に示す。なお、観測中の気象は概ね晴れ、風は、4 月 27 日は北西の風約 4~5m/s、8 月 23 日は東の風約 4~5m/s であった。

上げ潮時は、約 0.2kn の速さで南東方へ流れ、海岸に漂着した。

下げ潮時は、上げ潮時よりもやや速く約 0.3kn~0.4kn で、リーフギャップ (リーフの切れ目) に向かって南西方へ流れた。

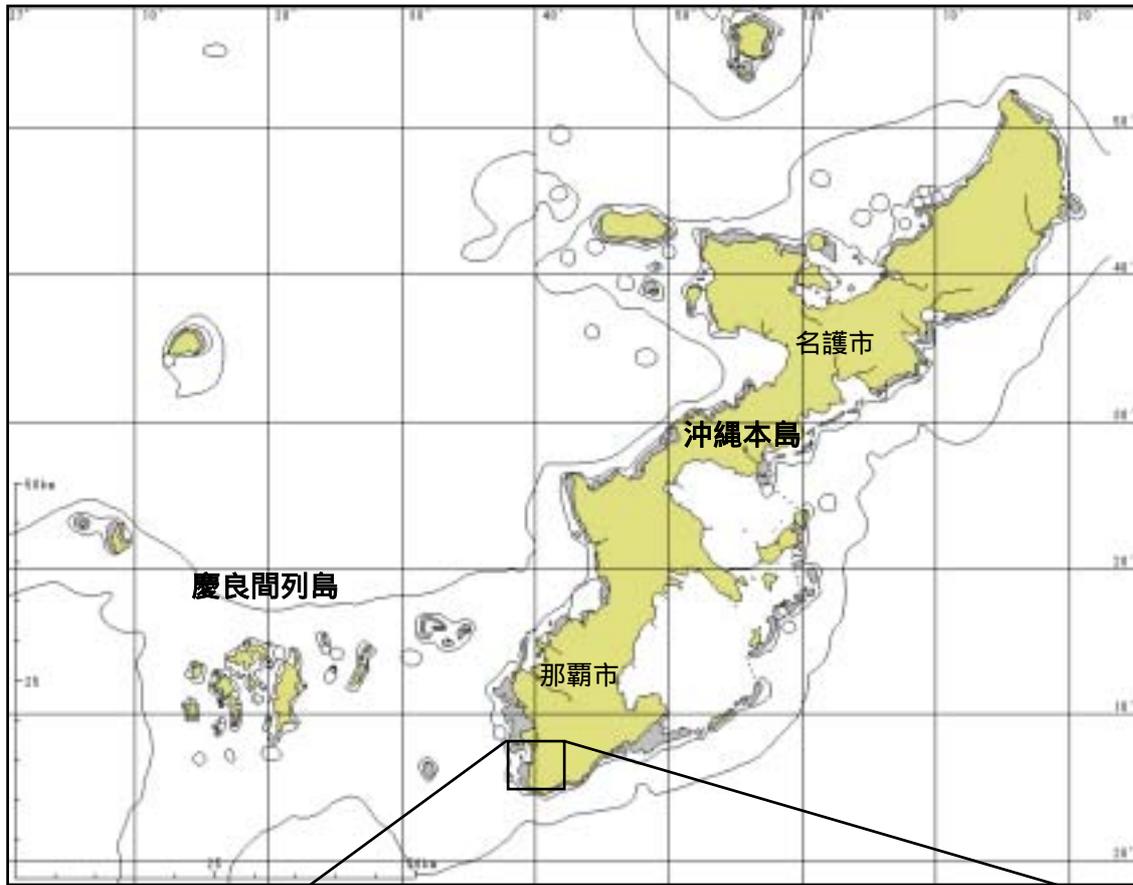
5. まとめ

名城ビーチは、ビーチ後方には林があり夏期でも木陰で涼しく過ごせ、比較的遠浅であり小さな子供でも遊べ、週末には観光客に限らず多くの海水浴客で賑わう場所である。また、ウミガメの産卵地でもあり、地元の憩いの場にもなっている。

今回の礁内における漂流観測では、4 月 27 日の上げ潮時においては、主に風の影響を受けていると思われる弱い流れが観測されたが、8 月 23 日の下げ潮時においては、全体的にビーチ付近に存在するリーフギャップに向かう流れが観測された。これは、潮汐性によるリーフカレントが発生している可能性がある。観測期間中、特に強い流れは観測されなかったが、リーフカレントは潮汐に起因する以外にも、うねりや風によっても流況がおおきく変化することがあるため、事前に気象・海象の情報をよく収集することが安全なマリッジに繋がると言える。

また、ビーチ沖の礁外では ADCP 観測により 2kn 近い非常に速い流れが観測されていることから、礁外におけるマリッジ活動はより一層の注意が必要とされる。

観測海域図

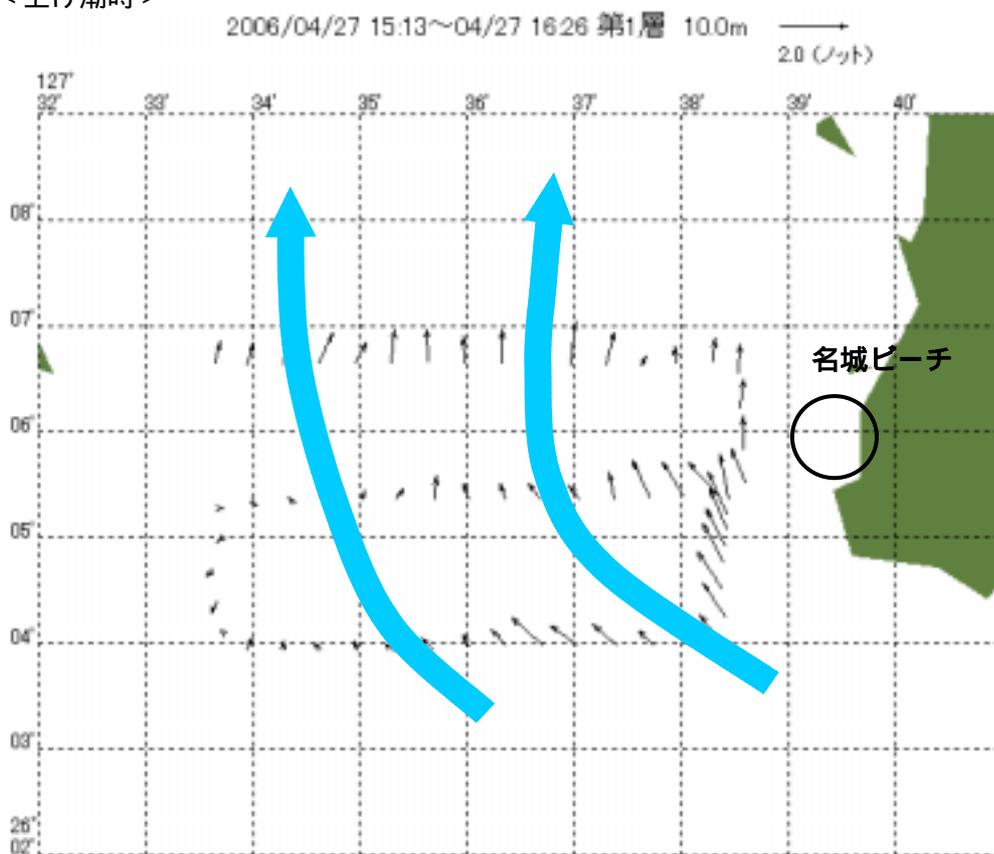


拡大図

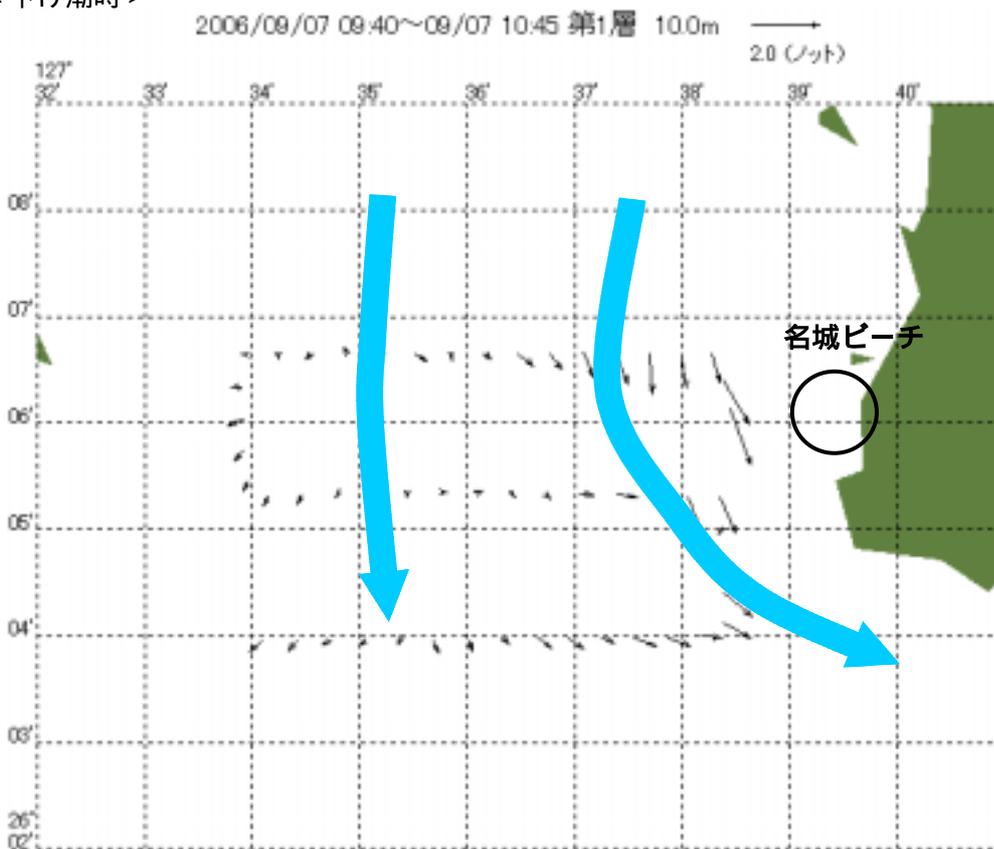


ADCP 観測結果 (4月27日及び9月7日観測)

< 上げ潮時 >



< 下げ潮時 >



漂流観測結果（4月27日及び8月23日観測）

